

受け入れることで、有望なベンチャー企業への地元定着を狙う。

市移

施設として使う。

来夏に開業する創業施設の名称は「つくば産業振興センター」。独立行政法人の情報通信研究機構が所有する建物を賃借し、二階部分を創業支援

つくばエクスプレス(TX)つくば駅から徒歩五分の場所に立地する。十二月の定例市議会に関連予算案を出し、可

決されれば来年一月から施設の改装を始める。部屋を間仕切りし、通信設備、セキュリティ体制を備えた環境にする。

泉ハウジング

CO₂排出相殺制導入

カーボンオフセット

環境重視、顧客にPR

月貸しマンション「ミスタービジネス」を展開する泉ハウジング(茨城県神栖市、今泉正勝社長)は利用客に付くポイントの一部を二酸化炭素(CO₂)の削減に充てる。入居中に電気、ガスなどを使うことで発生するCO₂を最大で全量、カーボンオフセットで減らす。環境意識の高いビジネス客に訴えて企業イメージを高める狙い。

発生するCO₂の排出分を埋め合わせる仕組み。泉ハウジングは利用日数に応じて食料品などと交換できるポイントを付与している。契約期間終了時に客の了承が得られればポイントの最大二割をカーボンオフセットに充てる。

泉ハウジングによると一カ月間のマンション利用で約百五十キロのCO₂が発生するという。同社が管理するマンションは約一万一千室。毎月約千六百ポンドのCO₂が排出される計算になる。カーボンオフセットの導入でCO₂の半減を目指す。

カーボンオフセットはCO₂排出枠を購入したり植林活動を支援したりすることで、日常生活で

「生活苦しく」46%

県世論調査 物価上

茨城県が実施した世論調査によると、暮らし向きが苦しくなったという回答が四六・七%に上り、